

会 議 録

1 会議名

令和4年度第6回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・ J-ホールディングスグループの整理について（公開）
- ・ 日帰り・宿泊温浴施設の今後の方向性の検討について（公開）

○協議事項

- ・ 意見交換会について（公開）
- ・ 委員研修について（公開）

3 開催日時

令和4年7月14日（木）午後6時00分から午後7時40分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、下鳥治、田中睦夫、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（二人欠席）
- ・ 事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、大堀建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）
施設経営管理室 竹下室長、杉山主事
行政改革推進課 手塚課長、島田副課長

8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を小林委員に依頼。

4「報告事項」 Jーホールディングスグループの整理について、事務局の説明を求める。

【施設経営管理室 竹下室長】

- ・挨拶

Jーホールディングスグループの整理方針案については、先に上越市議会や株主総会で説明させていただいている。Jーホールディングスについては平成25年9月に温泉施設管理運営を行う7社の持株会社として設立した。以後、事業会社の経営改善化と民営化の取組の方を推進してきた。このグループ会社の中にはやすらぎ荘の指定管理者である黒倉ふるさと振興株式会社が事業会社として参加している。Jーホールディングスについては新聞報道で目にされた方もいらっしゃるかもしれないが、少雪やコロナの関係でこの間キューピットバレイと三和振興の2社が解散した。この6月をもってうみてらす名立の管理者である株式会社ゆめ企画名立が、長野の株式会社B Jに株式譲渡を行った。この結果として今現在グループ会社が当初の7社から4社に減少している。経営規模の縮小により、なかなかスケールメリットが活かせないような状況である。また、Jーホールディングスの本体自体は事業を行っていない会社である。このまま残していてもJーホールディングスにかかる固定経費がすべて負担になってくる。このような状態でコロナ禍を乗り越えていくのは非常に厳しいのではないかと考えた。そこで令和3年12月の議会を経て、Jーホールディングスの抜本的な整理をする検討に入る説明をさせていただいた。

その後市とJーホールディングスの方で整理の方針について検討を重ね、今回の方針案にまとまった。これで、全て固まった訳ではない。これから関係者の皆様にも丁寧な説明をさせていただきたいと考えている。まずは一定のご理解をいただきたい。また、同時並行でホールディングスという経営形態から集約した事業会社で経営する形態への変更も検討している。それがどのように違うのか、売り上げや経費について根拠を示さないと変更の意義を説明できないと考えている。今、整理している途中なので、また9月か10月ごろを目途に今回の整備方針案について説明させていただきたいと考えている。コロナ禍で売り上げが半減している。それに伴って指定管理料は1.5倍に増額という状況になっている。ホールディングス形態を保ったままというのは困難と考えている。

これから詳細について説明するが、質問があれば回答させていただき、または持ち帰らせていただきたいと思います。よろしくお願ひしたい。

【施設経営管理室 杉山主事】

- ・資料1 Jーホールディングスグループの整理についてより説明。

【平井会長】

事務局の説明について意見・質問等がある委員の挙手を求める。

【小林委員】

昨年の黒倉ふるさと振興株式会社の経営状況の説明をいただいた時も質問させていただいた。黒倉ふるさと振興株式会社は現状も経営の体制が非常に脆弱だと。これからは経営基盤の強化が必要ではないかということ。あるいは、行政の関わり方についても昨年質問させていただいたが、明確な、あの時点では回答が得られなかった。ただ一番心配するのは、Jーホールディングスの効果が出なかったからその辺の反省に立って1社化すると。今後、最大のスケールメリットとか、そういったのを発揮できるように事業会社だけに任せるのではなく、行政が積極的に参画していかないと、同じことを繰り返すのではないかと危惧する。特に、やすらぎ荘の場合は収支が非常に厳しいということで、社長が雇われの身なので、当然可哀そうな面もあるが、経営意欲が薄らいでいるのではないかというような感じもする。ですから、その辺を、ヒトモノカネがどのように動くか分からないが、人材の確保についても、しっかりやる気のある人材をきちんと

経営陣に入れて、市の方も積極的に参画できるようにお願いしたい。

【施設経営管理室 竹下室長】

まさしく仰っているとおり、経営基盤の強化というものも、今のコロナ禍において非常に大事な部分である。三和振興株式会社がやむなく解散したというのも、資金繰り、純資産、財産自体が非常に少ない中で、一時のキャッシュの不足に耐えることができなかった。そういった側面もあるので、この4社で、例えば集約化することによって、経営基盤自体は強化が図れると考えている。

また、市が事業計画、収支計画を作って、実際に会社の方にやってみたらどうかとか、経営改善化の案を持って行ったとしても、他人が作った計画に対して当の本人がやりましょうという風にはなっていないというのも、それまでの経過の中から認識しているところである。

今回、整理方針案の形の中で、進めさせていただく場合は、しっかりとしたコンサル会社を入れ、また事業会社の従業員が自ら参画して自分たちのどこが悪くてどういったところを改善していかないといけないのか、そういったこともしっかり集約させていただいた中で、進むべき事業計画収支計画の作成に着手させていただければと考えている。

その中で、当然利益が出てくるのであれば従業員の方にもしっかりと還していくような仕組み、頑張った従業員が報われるような仕組み、また人材が不足するのであれば公募や新たな募集、そういったところもしっかり考えていかなければいけないとそのように考えている。

【小林委員】

要するに、事業監査というか定期的にチェック機能がしっかりと働いていかないとお任せになってしまう。その辺をしっかりとやっていただいて、我々からすれば、やすらぎ荘を残してほしいわけですから、存続できるように最大の配慮をしていただけるようにお願いしたい。

【施設経営管理室 竹下室長】

尽力させていただく。

【植木委員】

教えていただきたいのだが、平成25年9月にJーホールディングスができ

て、平成30年の1人当たり公費負担額199円。今後の見通しとすると、どのくらい負担が減る予定か。

【施設経営管理室 竹下室長】

令和3年度決算において、Jーホールディングスを継続させるにあたり約600万円かかっている。まず、ここが確実に減ってくる部分と思っている。また、事業会社が個々に行っている、日々の仕分け、決算業務、労務管理そういったものも一元化できると思うので、統合することによって確実に効果が出る部分があると見込んでいる。昨年の6月に社長が交代となり、新しい社長は民間のいろいろな事業にも関わっておられた方で、その方になっていただいてから、今申し上げた経理の一元化、労務管理の一元化、そういったものは令和3年度中に仕組みの構築に向けて動いていただいており、この4月から今申し上げた経理と労務管理の集約化はすでに図られている状況である。

【平井会長】

他に意見はあるか。

(意見なし)

この件については以上とする。

続いて、日帰り・宿泊温泉施設の今後の方向性の検討について事務局に説明を求める。

【行政改革推進課 手塚課長】

- ・挨拶
- ・資料2 日帰り・宿泊温泉施設の今後の方向性の検討についてに基づき説明

【平井会長】

事務局の説明について意見・質問等がある委員の挙手を求める。

【手塚委員】

地元の方では、四季折々を通じて、やすらぎ荘でいろいろなイベントをやっ
て、これが果たして正解なのかその辺は別問題としても、地域でもより少しでも
お客さんから来ていただきたいということで、いろいろな意味で事業をやって交
流人口を増やしたりということをやっている。今の説明を聞くと状況が状況なの
で、右肩下がりですべていい数字ではないのだが、行政の方としても私達よりは

いろいろな情報が豊富にあると思うので、例えばこういう風にすればこういう風な結果でいい方向になるのではないかとか、そういう風なアドバイスもいただいたり、そういうことをするものまた一つの方法ではないかと思う。その辺はいかがか。

【行政改革推進課 手塚課長】

芝桜の取組など地域の皆さんから非常に頑張ってもらっていることは承知している。引き続き地域の皆さんでこの施設を盛り上げていくというのは非常に大事なことであり、今後も協力いただきたい。今回の調査については、民間事業者から様々なアイデアやノウハウを提案してもらい、いろいろな検討の材料を集めたうえで、それを皆様方にフィードバックして、今の地域の皆さんの活動や、施設が地域にもたらす効果などを踏まえた中で施設の方向性を検討していきたいと考えている。今後も、継続して協議をお願いしたいと思っている。

【池田委員】

私も、やすらぎ荘に月2回ほど風呂に入って食事を取ったり利用させてもらっているが、説明を見るとあと3年くらいで利用人口が増えるというのは到底考えられないわけだが、だから施設をやめたいというような感じに聞こえる。地域の方々から少しでも利用してもらえるように何とか利用人口を増やすことを考えていかないと、何とか赤字補填できるような策を検討してもらいたい。

【行政改革推進課 手塚課長】

委員が仰るとおり、なかなか今コロナ禍の状況で利用者の増加は厳しいと考えている。また、先ほど申し上げたが、コロナの前においても人口減少の問題や皆さんの嗜好の変化もあり、利用人数が減少していく傾向が止まらない状況である。そのような中で各施設の指定管理者も創意工夫をし、利用促進を図っているが、効果が表れないのが現状である。今後、そこも踏まえた中で、一番の問題は施設の老朽化に伴う大規模な改修や、改築の必要性を検討しなければいけない時期を迎えることとなる点であり、今のうちからそのことについても議論を十分進めていく必要があると思っている。まずは利用促進というところをお願いしたいと思っているが、場合によっては温浴以外の違う形で地域振興に活かす道も視野に入れ、あらゆる角度から皆さんと意見交換、アイデア出しをしていく中で共に

施設の在り様を決めていきたいと考えている。

【古澤総合事務所所長】

私から一点お願いしたい。明日から6地区の意見交換会を行う。今年、やすらぎ荘と、ゑしんの里記念館と飯山市の湯滝温泉となべくら高原森の家が連携して、県道上越飯山線を行き来しようという取組ということで施設の割引券がついたチラシを作成したので、それを配布して板倉区の皆さんからも使っていただきたいと考えている。こういった地道な活動が必要だと思っているので、一つ一つやっていきたい。

【田中委員】

今ほど所長の方から話をいただいた。若干の割引であるが、こうしたチラシを初めて見させていただいた。部会でも再三に渡ってそのような提案をしていたが具体的にこうして見させてもらって、部会としても良い取組をしたのかなと思った。これは第一弾として考えているので、これからも厳しい状況は分かるが、やすらぎ荘は板倉の宝であるので、我々としても貢献していきたいと考えている。

【小林委員】

これからのスケジュールについてお聞きしたい。これから令和6年までに結論を出さなければいけないが、どのように進めようと考えているのか。

【行政改革推進課 手塚課長】

今後であるが、9月ごろから年内にかけて、各金融機関や団体に声をかけて、幅広く、今の指定管理者も含めて提案をしていただき、年明けには集約をして2月には地域協議会へお示ししたい。その後、地域協議会の皆さんと施設の取組方向について協議させていただきたい。協議の目安としては、令和6年度となっているが、丁寧に説明しながら一步一步前に進んでいきたい。

【植木委員】

参考資料1について、あと4つ施設が残っている中で、なぜマリンホテルハマナスが残ったのか。公費負担が多いので足を引っ張るのではないか。吉川のゆつたりの郷は先日寄ったが車を停める場所が無いくらい混んでいたの、良い例から学んだ方が良いのではないか。

【行政改革推進課 手塚課長】

参考資料1の公費負担額については、指定管理料を単純に人数で割ったものではなく、市が行った修繕料も含まれている。そのため一概には言えないがハマナスの金額が高いというところである。ゆっつりの郷の公費負担が少ないのは利用者が多いことが要因である。

【下鳥委員】

利用者数の推移については、人口減少しているので右肩下がりなのを鵜呑みにするのはどうかと思う。私がお願いしたいのは、やすらぎ荘は板倉の宝であると同時に上越の宝である。施設にお金がかかって大変なのはわかるが、入り口を広げ、県や国に行って直接お金を援助してもらえないのか。ましてや多雪地域である。雪国で苦勞しているのだから援助してもらいたい。そういった努力はしているのか。

【行政改革推進課 手塚課長】

参考資料1のグラフについては、人口減少による自然減という要因もあるが、それに加えて施設の陳腐化も要因の1つであると考えている。また令和2年の減少についてはコロナの影響が大きいと考えている。

また、昨年10月にこちらへ説明に来たときに、委員からやすらぎ荘は「板倉の宝」だとお聞きしている。各区で地域振興の思いで地域のシンボルとして施設を整備した経緯も承知しており、単にお金がかかるから、お客さんが減っているからと、頭ごなしに廃止を進めるものではない。ただ、本日は施設の現状を認識していただき、次の検討に向けて情報を共有することを目的としていることをご理解いただきたい。

国県の補助については、施設建設の時には、農林水産省とか厚生労働省とかで設立目的により補助制度があるが、施設は作った後の維持管理の経費や修繕経費については、国県に要望をはしているが補助してもらえない。今後、違う形でリニューアルするときには補助があるかもしれないが、現状の維持管理や修理についての補助はない。

【古澤総合事務所長】

補足するが、やすらぎ荘については源泉は地すべり区域からボーリングして引っ張ってきている。その地すべり防止区域で地すべりが起こると源泉が取れな

くなってしまう。そこの防止区域の所管する省庁に県をとおして地すべりをしっかり止めてもらうような要望は行っている。

【下鳥委員】

今後もしり口をなるべく広げていただいで努力していただきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

【平井会長】

他に意見はあるか。

(意見なし)

この件については以上とする。

続いて、意見交換会について事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料3 意見交換会の流れについて説明

【平井会長】

事務局の説明について意見・質問等がある委員の挙手を求める。

(意見なし)

この件については以上とする。

続いて、委員研修について事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料4 地域協議会委員の研修について(案)について説明

【平井会長】

事務局の説明について意見・質問等がある委員の挙手を求める。

【田中委員】

アンケートを提出したのが8人とはお粗末と思った。全員参加が基本だと思う。次回から事務局も気をつけて欲しい。私は県内研修で原子力発電所が今問題になっているので視察をしたらどうかと思っている。

【長藤委員】

私は区内研修を希望した。来年度の地域独自の予算につながるような研修がよいと思い、地域の宝の視察等提案させていただいた。

【平井会長】

他にないか。

【小池地域振興班長】

本日、西田委員が欠席だが、市長との懇談会を希望していた。

【小林委員】

私は市長との懇談会を提案した。市長が変わってから板倉についてどう考えているのか分からない。ざっくばらんに意思疎通を図るためにも市長に来てもらって懇談会をしたらどうか。

【平井会長】

他にないか。

【手塚委員】

私は温泉保養施設と地域との連携についてを提案した。施設と女性たちが関わる母ちゃん食堂とか、施設と密接に地域が関わっている例が見たいと思った。

【田中委員】

提案者がいたら聞きたい。安塚の黒地域（注）の提案について、何か特別なことをやっているのか聞きたい。

【小池地域振興班長】

本日欠席している庄山委員からの提案であるが、詳しいことは分からない。

【植木委員】

私は廃校の利活用の視察の提案をしたが、小林委員の提案した市長との懇談会の方がよいと思う。

【田中委員】

明日からの6地区の意見交換会でも廃校の利活用について質問意見が出るかもしれない。今の時点で分かっていることがあれば教えてもらいたい。

【古澤総合事務所長】

市としては、廃校活用についてこれといった案は現時点ではない。来年度の予算要求に向けて、例えば筒方であれば地域の皆さんがイベントなどで利用している状況である。そういったところで特産品を生み出すような取組に使えるように修繕ができないか考えている。また、山部ではスポーツ団体から使いたいという要望も来ているので地域の皆さんの意向を聞かなければいけない。宮島について

も地域の皆さんの意見を聞きながら考えていきたい。

【平井会長】

他に意見がないようなので、委員研修について、「区内研修」「市内研修」「県内研修」「その他」で、どのようにするか決をとる。詳しい内容については、後程、会長副会長と事務局で相談して決めていきたいかよろしいか。

(反対意見なし)

では「区内研修」について、賛成するものの挙手を求める。

(挙手多数)

・「市内研修」「県内研修」については挙手少数

では、区内研修に決定する。この件については以上とする。

次に「その他」事務局から何かないか。

【小池地域振興班長】

路線バス島田線の試験運行について、本日チラシをお配りしたのでご覧いただきたい。地域住民の利便性向上を目的に、島田線の正規のバスルートに加え、岡原バス停から上越妙高駅までを折り返すルートで、8月の土日、祝日の計11日間試験運行を実施する。時刻表については、北陸新幹線の発着時間にあわせ一部変更になるので、ご利用の際はご注意ください。また、期間中は運行会社による乗降調査や総合事務所職員による利用客のアンケート調査を行い、今後のバス運行の参考とする。なおチラシについては、板倉区内の各世帯に全戸配布を行う。よろしくお願ひしたい。

【平井会長】

・次回の地域協議会の日程等について確認

【古川副会長】

・挨拶

【米川次長】

以上で、第6回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 8 - 2 1 4 1 (内線 1 2 3)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。